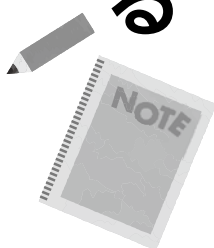




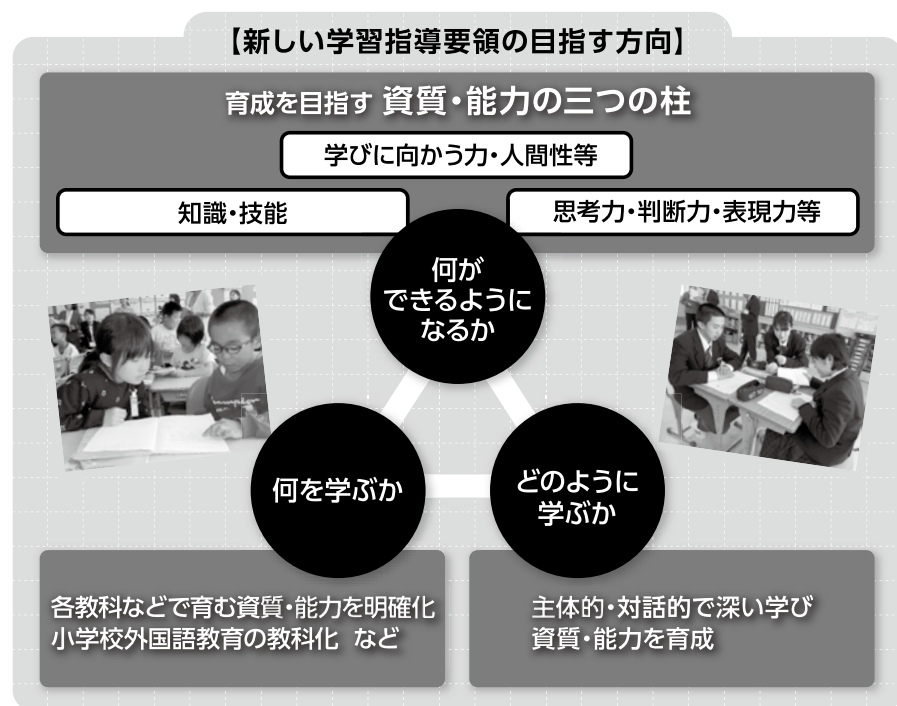
新しい学習指導要領による 教育が始まります



教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184

国では、時代の変化や子どもたちの状況や社会の要請などを踏まえて、およそ10年ごとに学習指導要領の見直しや改訂が行われます。学習指導要領は、全国どこの地域、学校で教育を受けても一定の教育水準を確保できるように、各教科などの目標や教育内容などを文部科学省が定めているもので、学校で指導する内容の基準になるものです。平成29年3月、文部科学省から新しい学習指導要領が示されました。

新しい学習指導要領の特徴は、生涯にわたって能動的に学び続けることができる力の育成を目指し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」が、育成すべき資質・能力の三つの柱として整理されたことです。



また、改訂の内容として、「道徳」が「特別の教科道徳」として教科になること、小学5・6年生に外国語（英語）、3・4年生に外国語活動（英語活動）が新しく始まることなどがあります。

授業時間数については、小学3・6年生まで、それぞれ週に1時間増加します。

新しい学習指導要領は、小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面实施となります。新しい学習指導要領への円滑な移行を図るため、小・中学校共に平成30年度から段階的に新しい学習指導要領の内容の一部を実施する移行措置の期間が始まります。

庄原市においても、「特別の教科道徳」や小学校英語について、来年度から新しい学習指導要領による教育をスタートします。

「特別の教科道徳」について

「道徳」が「特別の教科道徳」として教科化された背景として、いじめ問題への対応の充実、互いに尊重し協働する社会の形成、規範意識の育成など、人としてよりよく生きることなどがより一層求められていることがあります。そのため、各学校では、答えが一つではない道徳的な課題や情報モラル問題、いじめ問題などについて、一人一人の児童生徒が自分自身と向き合い、自らの課題として捉え、「考える道徳」議論する道徳を進めていきます。

このように変わります

●教科書を使って授業を行います。また、郷土の先人に係る資料や地域の方の話、体験活動を取り入れるなど、授業の方法を工夫します。

●「特別の教科道徳」の評価は、授業の様子や自己評価（児童生徒の感想）などから、一人一人の成長（道徳性）を見て、通知表などにより、文章でお伝えします。

庄原市では、廣済堂あかつき株式会社の「みんなで考え、話し合う小学生の道徳」の教科書を採用しました。4月に小学校の子どもたちに道徳の教科書が配付されます。

なお、中学校では、平成31年度から教科書を使用した授業を始めます。

このように変わります

教科等名称	外国語活動（英語活動）	外国語（英語）
対象学年	3・4年生	5・6年生
授業時間数	年間35時間（週に1時間）	年間70時間（週に2時間）
ねらい	英語を聞く、話す活動を通して、英語の音声に慣れ親しむ。	音声に慣れ親しんだ簡単な英語の表現について、文章に触れる、書き写すことなどを通して、「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ。
主な活動	「聞くこと」「話すこと」を中心に、相手との簡単なやり取りを行う。	●「聞くこと」「話すこと」の簡単な表現を理解する。 ●音声に慣れ親しんだ表現を使って「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ。 ●他者（複数）との簡単なやり取りを行う。

急速に社会のグローバル化が進む中、英語力の向上は大変重要であり、小・中学校での英語学習の充実がより一層求められています。そのような中、小学校においても英語による簡単な表現でやり取りができるようになるため、3年生から英語による学習を行います。

中学校外国語については、授業時間数の変更はありませんが、小学校外国語の改訂に伴い、小学校・高等学校の学習内容とのつながりを踏まえ、教師が英語で指示したり、生徒自身が英語を使う機会をこれまで以上に増やしたりするなど、より質の高い授業を行います。



ALT（外国語指導助手）との英語活動



新学習指導要領対応 小学校外国語教材（文部科学省）



●課題の解決に向けて、友だちと共に学び合う児童生徒

●学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間粘り強く学ぶ児童生徒

●自分で考えたことを友だちと意見交換する、議論するなどして、新たな考えに気付く、考えを深めることができる児童生徒

●「分かった」「できた」「またやってみよう」と学び続ける児童生徒

●自らの学習をまとめ、振り返るなどして、次の学びにつなぐ児童生徒

こんな学びの姿を目指しています

各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業づくりの工夫・改善を行います。